

高活協通信(2019年11月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.agenomics.org>

◆◆◆高活協ニュース◆◆◆

■高活協メールマガジンが高活協通信と名称を変更して再開

2019/5/31号を最後に休止していた高活協メールマガジンが、高活協通信と名称を変更して2019年11月号から再開されました。

■第8回定時社員総会(2019/5/27開催)以降の高活協の主な活動

- 1、2019年6月より事務局を京橋オフィスに移転、新事務局長に野島卓郎理事が就任
- 2、2019年6月5日付で事務局より総会の全会員に高活協第8回定時社員総会議事録を送付
- 3、厚生労働省就労支援団体育成モデル事業採択団体との面談・情報交換(NTT 東日本電友会＝6月5日、前田建設工業富士見会＝6月19日、埼玉 OB サポーターズ倶楽部＝電話連絡のみ)
- 4、2019年6月25日、セミナー開催「SDGsの取組み」(高活協主催、講師＝永松千穂氏)
- 5、2019年7月6日、日本青年会議所第67回関東地区大会(熊谷大会)で講演(日本青年会議所主催、講師＝岡本高活協理事長代行・緒形高活協副理事長、テーマ＝生涯現役社会の実現を目指して)
- 6、2019年9月19日、セミナー開催「保育補助の取組」(高活協主催、講師＝武市海里氏)
- 7、2019年10月1日、フォーラム開催「“生涯現役の日”交流フォーラム2019」(高活協など5団体共催)
- 8、2019年10月24日、「“生涯現役の日”交流フォーラム2019」関連で夕刊フジより取材
- 9、2019年11月8日、高活協2019年度第2回理事会を開催予定

◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

■「生涯現役の日」交流フォーラム2019を開催しました(開催の様子は「“生涯現役の日”制定・普及委員会」のホームページ <https://www.lifelongociety.org/>からご覧になれます)

日時：2019年10月1日(火) 14時00分～18時30分

会場：AP市ヶ谷(JR市ヶ谷駅前)東京都千代田区五番町1-10

主催：「生涯現役の日」制定・普及委員会(議長：清家篤前慶應義塾長)

共催(共同事務局)：

- 一般社団法人高齢者活躍支援協議会(共同事務局代表＝岡本高活協理事長代行)
- 一般財団法人長寿社会開発センター国際長寿センター
- 公益社団法人長寿社会文化協会

○一般社団法人シニアセカンドキャリア推進協会

○一般社団法人高齢社会共創センター

協力：電通シニアプロジェクト

開催趣旨：人生100年時代を迎え、その長い人生をいかに有意義に過ごすかは私たちにとって大切な課題となっています。本交流フォーラムでは、「生涯現役社会」の実現をテーマに各界有識者の方々にお集まり頂き、「職業寿命」「社会活動寿命」「資産寿命」そしてそれらの大前提となる「健康寿命」の4つの側面から意見交換会を実施しました(会場には、2つの職業寿命テーブルをはじめ、各寿命側面に対応して意見交換を行うためのテーブルを5つ用意しました)。また、同時に「生涯現役の日」の認知を広げ、生涯現役社会の実現をめざすネットワークづくりのための懇親会も行いました。

「生涯現役の日」とは

「生涯現役の日」制定・普及委員会(2018年7月10日設立)は、「日本は“大人になった個人が人生100年時代になっても最後まで自立していける生涯現役社会”の入り口に立っている」という意味合いの「記念日」との思いを込めて、「生涯現役の日」を制定いたしました(2018年9月19日制定)。

「生涯現役の日」制定・普及委員会は、この記念日「生涯現役の日」の普及を通じて、わが国において「“生涯現役社会”の実現をめざす」という意識の共有に向けた国民運動を喚起したいと考えております。

「生涯現役の日」制定・普及委員会ホームページ：<https://www.lifelongociety.org/>

プログラム

14:00～14:10 主催者代表挨拶：清家篤(日本私立学校振興・共済事業団理事長、前慶應義塾長)

14:10～14:40 講演「総社市障がい者千人雇用」：片岡聡一(岡山県総社市長)

14:40～16:10 意見交換：5つの各テーブルで意見交換

休憩(10分)

16:20～16:50 意見交換の結果発表：5つの各テーブルより概要発表

16:50～ 記念写真撮影後、懇親会会場に移動

17:00～18:30 懇親会

参考：10月1日「生涯現役の日」の由来

10月1日は、1990年の国連総会で決議された「国際高齢者デー」です。

この「国際高齢者デー」の理念の一つに、「年齢にかかわらず誰もが生活の質を低下させることなく、就労やボランティア活動を含む社会参加を続けながら、健康的に年を重ねていく」とことがあります。この理念には、わが国における敬老の日や老人の日とは違い、必ずしも高齢者に限定されない概念が含まれています。そして「生涯現役の日」の理念にも、「大人になってからの人生を社会とかかわりながら自立して生活していく」という概念が込められており、高齢者のためだけの理念ではありません。この意味で、10月1日を「個人が生涯にわたって自立をめざす記念日」すなわち「生涯現役の日」と定めるのは、敬老の日など高齢者の記念日とは異なることから、わが国でも新たな記念日として認知されやすく、かつ「国際高齢者デー」との整合性も保てることとなります。

◆◆◆高活協会員関連イベント等のご紹介◆◆◆

会員のご希望があればご紹介記事を適宜掲載していく予定です。

◆◆◆生涯現役社会の実現に向けて — その他の情報◆◆◆

■生涯現役社会の実現に向けた政府や企業・団体などの動きを適宜ウオッチしていきます

ちなみに2019年9月20日に開催された第1回全世代型社会保障検討会議の主な議論の内容が、会議後の記者会見で西村内閣府特命担当大臣より紹介されました。その概要は以下の通りです。

1つ目は、少子高齢化が進む中で、これまでの社会保障システムの改善にとどまることなく、システム自体の全体の改革を進めていくことが不可欠である。同時に、元気で意欲あふれる高齢者の皆さんが、年齢に関わらず働くことができる、そうした環境を整えることが必要である。

2つ目は、70歳までの就業機会の確保の法制化や、意欲ある方が兼業、副業できる環境整備、年金の受給開始年齢を自分で選択できる範囲の拡大、また、疾病や介護予防、病気、介護予防へのインセンティブ措置の強化が必要である。

3点目は、全世代型社会保障検討会議においては、少子高齢化と同時にライフスタイルが多様化する中で、人生100年時代の到来を見据えながら、お年寄りだけではなく、子供たち、子育て世代、更には現役世代まで広く安心を支えていくことが大事である。そのために年金、医療、労働、介護など、社会保障全般にわたる持続可能な改革を図る必要がある。

■「在職老齢年金」制度の動向

高齢者の就労促進にブレーキをかけていると指摘される「在職老齢年金」制度について、現状以下の通り減額基準が決められているが、現在この制度の見直しが政府で検討されている。

○ 65歳～ 賃金＋年金 > 47万円 ⇒ 超過分に応じて年金から減額

報道では、65歳超の減額基準を62万円に引き上げる案が有力視されていたが、将来の年金水準の悪化につながるの危惧から、ここに来て50万円台にする案も浮上してきており、今後の動向から目が離せなくなっている。ちなみに62万円では、所得代替率(現役男性の平均手取り収入に対するモデル世帯の年金額の割合)を0.2ポイント押し下げのに対し、50万円台では、0.1ポイントにとどまるとのこと。なお、現在の制度では、将来的な所得代替率は50.8%まで低下する見通しとなっているが、制度を廃止すると所得代替率が0.4ポイント押し下げられる見通しとしている。

■高齢者雇用の総合誌『エルダー』2019年11月号(2019年11月1日発行)のご紹介

発行:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

<http://www.jeed.or.jp/elderly/data/elder/index.html>

<特集>

高齢者が働く職場の創意工夫が集結！

2019 年度高齢者雇用開発コンテストⅡ

～高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰受賞企業事例から

——独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構では、厚生労働省との共催で「高齢者雇用開発コンテスト」を毎年開催しています。コンテストでは、職場環境の改善や新たな仕事の創出により、生涯現役で働ける職場を実現している事例や、高齢者が身につけたスキルを十分に発揮できる職場環境を創意工夫して整備した事例などを募集し、優れた取組みを表彰しています。「厚生労働大臣表彰」受賞企業を紹介した10月号に続き、11月号では、「当機構理事長表彰優秀賞」を受賞した7つの企業や団体の取組みをご紹介します。

1. 社会福祉法人 洗心会(栃木県小山市)
2. 株式会社 シーピーユー(石川県金沢市)
3. 有限会社 ダイケイ(福井県坂井市)
4. 株式会社 TFF(岐阜県岐阜市)
5. 社会福祉法人 あいの土山福祉会(エーデル土山)(滋賀県甲賀市)
6. 山陰松島遊覧 株式会社(鳥取県岩美郡)
7. 株式会社 元禄(愛媛県西予市)

<連載>

○リーダーズトーク(No.55)

「働きがい」改革が、わが社の働き方改革 シニアの活躍に向けて段階的に定年を延長
(株)オカムラ 執行役員コーポレート担当(人事・人財開発・お客様相談)佐藤喜一さんに聞く

○江戸から東京へ(第 86 回) 作家 童門冬二

生涯現役家老 大屋遠州

○高齢者に聞く 生涯現役で働くとは(第 67 回)

共同エンジニアリング株式会社 顧問 杉村卓治さん(69 歳)

○高齢者の現場 北から、南から(第 90 回)

熊本県 株式会社一休本舗

○新連載 AI・ICT で働き方が変わる～高齢者から始まる働き方改革～

東京大学 先端科学技術研究センター 講師 檜山 敦

第 1 回「AI・ICTを活用した高齢者への就労支援の意義と課題」

○知っておきたい労働法 Q&A(第 19 回)

求人広告と労働契約／パワハラ防止義務

○科学の視点で読み解く 身体と心の疲労回復

第 6 回「疲労の回復に効果が期待できる栄養素」

国立研究開発法人理化学研究所
健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム
プログラムディレクター 渡辺恭良

○日本史にみる長寿食(vol.314) 食文化史研究家 永山久夫

ニンジンを食べると今日も元気

○ブックス

・佐藤純著『同一労働同一賃金の基本給の設計例と諸手当への対応』(日本生産性本部 生産性労働情報センター)

・中山慈夫著『就業規則モデル条文 第4版』(経団連出版)

○技を支える(vol.306)

フランス菓子文化の伝道者 日本最高峰の技と味を形に

洋菓子職人 藤生義治さん(72歳)

○イキイキ働くための脳力アップトレーニング！(第30回)

◆◆◆
配信先メールアドレスの変更をご希望の方、また配信が不要な方は高齢者活躍支援協議会・事務局までご連絡ください。

本メルマガに対するご意見やご感想をお聞かせください。

また、本メルマガに掲載してほしい情報等がありましたら、ぜひご連絡ください。
